取扱説明書

ミーレ冷凍冷蔵庫

KF 8762 S ed

お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。とくに「安全上のご注意」
は必ずお読みください。

M. -Nr. 06 996 250

目次

目次

各部のなまえ

① 冷蔵室電源 ON/OFF ボタン

② 冷蔵室温度表示器

③ 冷蔵室温度調節ボタン
（左ボタン：弱、右ボタン：強）

④ SUPER クーリング（急冷蔵）ボタンと
表示ランプ

⑤ インターロック表示ランプ

⑥ 冷凍室電源 ON/OFF ボタン

⑦ 冷凍室温度表示器

⑧ 冷凍室温度調節ボタン
（左ボタン：弱、右ボタン：強）

⑨ SUPER フリージング（急冷凍/急速製氷）
ボタンと表示ランプ

⑩ アラーム解除ボタン

⑪ バター／チーズケース

⑫ 庫内灯

⑬ 卵ケース

⑭ 棚

⑮ ボトルラック

⑯ 水みちと水抜き穴

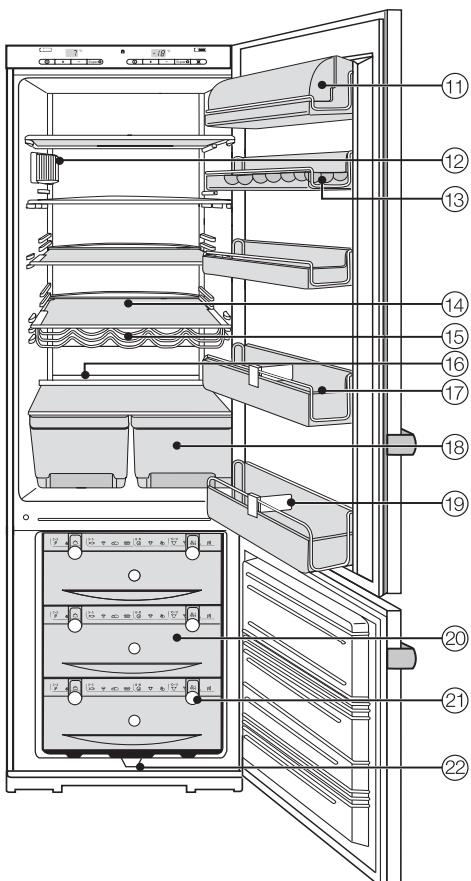
⑰ドアポケット

⑱ 果物／野菜ケース

⑲ ボトルホルダ

⑳ 引き出し式冷凍ケース（カレンダー付き）

㉑ 冷凍食品マーカー

㉒ 排水ブリッジ

環境保護に寄与

輸送用梱包資材の処分

梱包資材は、器具が輸送時に損傷するのを防ぎます。本機の梱包に使われている資材は、環境保護および処分技術の観点から選ばれており、リサイクル可能です。

梱包資材を原料にリサイクルすることで、資源を節約でき、ごみを削減できます。梱包資材は販売店で回収しています。

使用済み器具の処分

使用済みの古い器具にも、まだ十分に利用できる有益な原料が含まれています。使用済み器具は、お買い求めになった販売店もしくは公共の回収システムを通して、資源のリサイクルにご協力ください。

配管系は、環境保全を考慮した適切な廃棄場に搬送するまで損傷しないように気をつけてください。これは、冷却回路に含まれている冷媒およびコンプレッサのオイルが外部へ漏れないためです。

使用済み器具を廃棄する際にも「安全上の注意」をよくお読みください。

⚠ 警　告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注　意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するため色々な絵表示を使用しています。 内容をよく理解してから本文をお読みください。

 一般的に重要な注意事項

 潜在的な危険・警告・注意

 感電注意

 機器に損害を与える可能性のある場合

 発火注意

 高温注意

 禁止行為

 分解禁止

 電源プラグに関する注意

 水場、湿気の多い場所での使用禁止

本機は所定の安全基準に適合していますが、正しくお使いにならないと人的や物的損害の原因になる恐れがあります。
冷凍冷蔵庫をお使いになる前にはこの取扱説明書をよくお読みになってください。安全上、据え付けやお使いになるとき、お手入れするときの注意事項を記載しています。よくお読みになって冷凍冷蔵庫は安全に、大事にお使いください。

取扱説明書は大切に保管しておいて、次に使われる方にお渡しください。

⚠ 警　告

 用途は決められています。

この冷凍冷蔵庫はご家庭専用で、食料品や冷凍食品の貯蔵や新鮮な食品のホームフリージングや製氷にお使いください。
これ以外の用途にはご使用にならないでください。
決められた用途でご使用にならなかったり、誤操作がもとで起きる被害や損害の製造者責任は負いかねます。

 感電の恐れあり。

庫内灯の交換やお手入れの際には必ず電源プラグを抜いてください。

 本機には冷媒として環境に優しい天然ガスのイソブタン（R600a）が充填してありますが、イソブタンは可燃性です。イソブタンを使用する事によって、運転音が部分的に高くなる可能性がありますが、製品の性能に影響はありません。本機を運ぶときや据え付けるときには、冷媒回路の一部でも破損しないように注意してください。 また、噴出する冷媒によって目を負傷することがあります。

安全上の注意

⚠ 警　告

冷媒回路を破損した場合には：
－火気や点火源を避け、
－電源プラグを抜いて、
－本機のある部屋を数分間換気して、
－サービス窓口に通報してください。

冷媒の量が多くなれば多いほど、冷凍冷蔵庫が据え付けてある部屋は大きくなければいけません。漏れによっては、狭いところでは可燃性のガスと空気の混合物を生成することがあります。
冷媒８グラム当たり少なくとも１立方メートルのスペースがなけれないけません。
冷媒の量は庫内の銘板に記載してあります。

電源に接続する前に必ず銘板の仕様（電圧、周波数）と電源電圧や電源周波数と見比べてください。電源が一致していないようであれば電気工事業者にお問い合わせください。

冷蔵庫の据付けは通風効果や震動音発生防止のため、冷凍冷蔵庫背面を壁面から50mm 以上離して設置してください。

電気工事はすべて電気工事設備技術基準に準じて行ってください。

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。

必ず以下の操作を行って電源と切り離します。
－電源プラグを抜いて外します。
　コードではなく電源プラグを引っ張って電源から切り離してください。
－屋内配線のブレーカーをOFF にします。

⚠ 警　告

延長コードで電源に接続しないでください。過熱する恐れなど、延長コードでは所定の安全性が確保できません。

都市ガスなどのガス漏れがあった時には、冷蔵庫やコンセントには手を触れず、窓を開けて換気を良くしてください。引火爆発し火災ややけどの原因となります。

ドアにぶら下がったり、引き出しバスケットに乗ったりしないでください。冷蔵庫が倒れたり思わぬけがをする恐れがあります。

エーテル・ベンジン・LP ガス・接着剤など揮発しやすく引火しやすいものは、庫内に入れないでください。
電気接触のスパークで爆発する危険があります。

⚠ 注　意

冷凍食品や容器を、ぬれた手で触れないでください。くっついて凍ることがあり、凍傷の恐れがあります。

角氷やスティックアイス、特に氷果は冷凍室から取り出してすぐに口にしないでください。低温で唇や舌がくっついて凍ることがあり、凍傷の恐れがあります。

溶けかかったり解凍した食品は再冷凍しないでください。栄養価が下がったり傷んだりしますので、解凍したものはできるだけ早いうちに使用するようにしてください。解凍した食品は煮たり焼いたりすれば、また冷凍できます。

⚠ 注　意

爆発しやすいものや可燃性ガスを含むもの（スプレー缶など）は貯蔵しないでください。サーモスタットの作動時には火花が発生することがあり、点火性の混合物が爆発することがあります。

アルコール濃度の高いものは必ずまっすぐ立てて、キチッと密封して冷蔵室に置いてください。爆発する恐れがあります。

本体に水をかけたり、水に浸けたりしないでください。ショートや感電の恐れがあります。また、水をこぼしたり、湿気の多い所に設置するのはおやめになってください。絶縁が悪くなり漏電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、引っ張ったり無理に曲げたり、被膜を剥がしたり、かじったり、束ねたりしないでください。 電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

電源プラグの刃や刃の周辺やコンセントとの取付け面にほこりが付着しますと、火災の原因となります。 良く拭いてください。

凍ることがある缶やビン入り炭酸飲料は冷凍室で貯蔵しないでくだださい。 缶やビンが破裂することがあり、けがしたりする恐れがあります。

早く冷やそうと冷凍庫に入れたビン類は1 時間以内に取り出してください。ビンが破裂することがあります。けがしたり本体を損傷したりする恐れがあります。

⚠ 注　意

賞味期限のきれた食品を食べると腐敗により、病気の原因になることがあります。食品の保存期間は、新鮮度や品質、庫内温度などのいろいろな要因によります。食品メーカーの保存についての注意や賞味期限に注意してください。

先のとがったものや角の鋭いものを使って
－霜や氷層を取ったり
－凍りついた製氷皿や食品を取り上げないでください。
冷却器を損傷したり、本体が正常に機能しなくなります。

庫内に電熱器やローソクを置いて除霜したりしないでください。
プラスチックの部材を傷めてしまいます。

半ドアにしますと、庫内の冷えが悪くなったり、冷凍食品が解ける恐れがありますので、ドアは確実に締めてください。

冷蔵庫内の水抜き穴⑯がつまってしまった場合、冷蔵室下部より水が漏れますので定期的にお掃除をしてください。

長期間ご使用にならないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。

冷蔵庫後部に手を触れないでください。凝縮器や圧縮機に触れるとやけどをおこす可能性があります。

除霜スプレーや解氷剤は使わないでください。 可燃性ガスを生成したり、プラスチックを傷める溶剤や発泡剤を含んでいたり、健康にも有害です。

安全上の注意

⚠ 注　意

ドアパッキングにはオイルやグリスをつけないでください。
次第に気密性が悪くなり、冷気が漏れることになります。

本体最底部の通気口を塞がないでください。空気の対流が確保できなくなり、冷却できなくなったり、故障の原因となります。

冷蔵庫のドアには食用油を入れないでください。 応力によってプラスチックのドア材料に亀裂が入ることがあります。
本体最底部の通気口を塞がないでください。
空気の対流が確保できなくなり、消費電力が増加し、部品を傷めることがあります。

守らなければいけない気候区分（室温範囲）が指定してあります。
気候区分は庫内の銘板に記載してあります。
室温が下がると静止状態が長くなり、所定の庫内温度を維持できなくなります。

霜取りや清掃には決してスチームクリーナーを使わないでください。
蒸気が本体内部に入り、ショートする原因になることがあります。

冷蔵室の温度は「上部」と「下部」では温度差があります。「下部」の方が温度が低くなります。

溶剤や磨き粉、ワックスの入った洗剤、臭いの強い洗剤を庫内のお手入れに使用しないでください。本体を痛めたり臭いが残ったりする恐れがあります。

⚠ 注　意

製造者の許可が無い電化製品や精密機器を冷凍室や冷蔵室に入れないでください。故障や誤作動を起こす場合や、破損、爆発する場合もあります。

⚠ 警　告

使用済み器具の廃棄処分

幼児の閉じ込められる恐れあり
冷凍冷蔵庫を破棄処分する際には、ドアロックやドアパッキンを外してください。

使い古したものは差込みプラグを抜いて、電源コードを切って、使えないようにしてください。

例えば、
－蒸発部の冷媒管を突き破ったり
－配管を折ったり
－表面の被覆をかき落したりして
冷却回路を損傷しないでください。
噴出する冷媒で目を負傷することがあります。

⚠ 注　意

安全上の注意を無視したために生じる被害や損害の製造者責任は負いかねます。

	通常の消費エネルギー	消費エネルギーの増加
据え付け	風通しの良い場所	閉めきった、風通しの良くない場所
	直射日光の当たらない場所	直射日光の当たる場所
	ヒータやオーブンなどの放熱する器具がそばにない	ヒータやオーブンなどの放熱する器具のすぐそば
	室温が理想的な 20 ℃ ぐらい	周辺温度が高い
温度を段階的に調節するサーモスタット	中程度 2 ～ 3 の設定	高い段階を設定した場合：庫内の温度を低くすると、より多くのエネルギーが消費されます。
無段階温度調節サーモスタット（デジタル表示）	地下室 8 ～ 12 ℃	冬期切り替え機能のある冷蔵庫の場合には、周辺温度が 16 ℃ を超えるとスイッチが解除されますのでご注意ください。
	冷蔵室 4 ～ 5 ℃	
	パーフェクトフレッシュ室約 0 ℃	
	冷凍室 －18 ℃	
使用における注意事項	ドアをできるだけすばやく開閉する	ひんぱんにドアを開けたり開けっ放しにしたりすると、冷気が失われます。
	食品をきちんと分類して入れる	庫内がきちんと整頓されていないと、物を探す際にドアが開けっ放しになります。
	温かい食べ物や飲み物は、冷やしてから入れる	庫内に温かい食べ物を入れると、コンプレッサの作動時間が長くなります（庫内の温度を下げるため）。
	食品はきちんとラップするか何かで覆って入れる	冷蔵室で水分が蒸発したり濃縮されたりすると、冷気が失われます。
	冷凍食品を冷蔵室内で解凍する	
	空気が循環するように、物を詰めすぎない	
霜取り	氷層が 1 cm ほどの厚さになったら冷凍室を除霜します。	氷層により冷凍室の冷却出力が低下し、消費電力も増えます。

本体の電源 ON/OFF

使いはじめ

ステンレス部分は、輸送時に損傷しないように保護フィルムがかかっています。

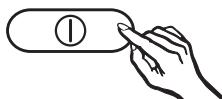
■ 包装フィルムは、冷蔵庫の据え付けおよび組み立ての後で取り外してください。上の隅から外します。

■ 庫内と付属品を清掃します。ぬるま湯で清掃した後、最後にふきんで拭いて完全に乾かします。

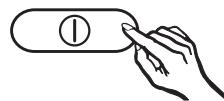
搬送された冷蔵庫はすぐに接続せずに、約30 分〜1 時間放置してください。これは冷蔵庫の機能上非常に重要です。

本体の電源 ON

冷蔵室と冷凍室は、必要に応じてどちらか一方だけでも電源を入れることができます。

冷蔵室

■ 左側にある冷蔵室の ON/OFF ボタンを押します。

冷蔵室温度表示器が点灯します。冷蔵室は冷却を始め、ドアを開けると庫内灯が点灯します。

冷凍室

■ 右側にある冷凍室の ON/OFF ボタンを押します。

冷凍室の温度表示器にはダッシュ (—) が点灯して、冷凍室は冷却を始めます。

温度を十分に低くするために、食品を入れる前に冷凍室を数時間予冷してください。

保冷剤

保冷剤は冷凍室上段の冷凍室ケースか、場所をとらないようにフリージングトレイの中に入れます。冷凍室におよそ 24 時間入れておくと、クーラーとして最大限の保冷能力を発揮します。

本体の電源 OFF

■ 温度表示器が消灯するまで、各 ON/OFF ボタンを押します。

冷却が停止されます。（停止しない場合にはインターロックが作動しています。）

インターロック

インターロック（連動装置）によって、不用意に電源が切られるのを防げます。

インターロックの ON/OFF

■ SUPER フリージングボタンを約5秒間押し続けます。

SUPER フリージングボタンの表示ランプが点灯し、温度表示器には「c」が点滅します。

■ SUPER フリージングボタンをもう一度押します。

表示器の「c」が点灯します。

■ 温度調節ボタンを押して、「c 0」もしくは「c 1」を選択します。

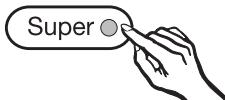
0: インターロックは OFF になっています。

1: インターロックは ON になっています。

■ SUPER フリージングボタンを押して、設定を保存します。

インターロックが ON であると、インターロックの表示ランプ が点灯します。

■ 冷凍室電源 ON/OFF ボタンを押して、設定モードを終了します。

およそ 2 分後に、通常運転に切り替わります。

長時間お留守にするときは

長期間ご使用にならないときは、

■ 電源を切って、

■ 電源プラグを抜き、

■ 冷凍室の霜取りをして、

■ 本体を清掃して、

■ 臭いがつかないようにドアを少し開けておいてください。

長期間お留守にするときに清掃しないまま本体の電源を OFF にすると、ドアを閉めきってカビが生える恐れがあります。

適切な温度

食品を貯蔵する際には正しい温度調節が大切です。微生物による食品の腐敗は急速に進みますが、適切な貯蔵温度を設定することで、腐敗を防いだり遅らせたりできます。 温度は微生物の繁殖スピードに影響します。低い温度ではこの現象は遅くなります。

庫内の温度は、

- ドアの開閉の頻度が多く、開けっ放しの時間が長くなればなるほど
- 食品を多く詰めればつめるほど
- 入れたての食品の温度が高ければ高いほど
- 本体の周辺温度が高ければ高いほど上昇します。
  本機は守らなければならない気候区分（室温範囲）が指定されています。この範囲を遵守してください。気候区分は庫内の銘板に表示してあります。

冷蔵室の温度

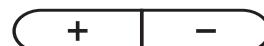
冷蔵室には 4 °C が最適です。

冷凍室の温度

新鮮な食品を冷凍したり、食品を長期保存したりするためには、−18 °C に冷却する必要があります。この温度では微生物が大幅に増加しなくなります。温度が −10 °C 以上になるとすぐに微生物による腐敗が始まり、食品はあまり長期間保存できません。このため、解凍した食品は、煮たり焼いたりして調理した後で再冷凍してください。ほとんどの微生物は高温で死滅します。

温度調節のしかた

冷蔵室や冷凍室の温度は、各温度表示器の下にある 2 つのボタンで調節します。

各ボタンの機能は次のとおりです。

左側のボタンを押すと、温度が高くなります
右側のボタンを押すと、温度が低くなります。
調節している間は設定温度が点滅します。

ボタンを押すと、次のように温度表示器の表示が変わります。

– 最初に押すと、**前に設定した温度**が点滅して表示されます。

– 以後、押すたびに温度は 1℃ 刻みで変わります。

– ボタンを押したままにすると、温度は連続して変わります。

最後にボタンを押してから約 5 秒後に、**実際の**冷蔵室および冷凍室の温度表示に自動的に切り替わります。

温度設定を変更した場合、**庫内がさほど詰まっていない場合には 6 時間後、いっぱい詰まっている場合には 24 時間後**に温度表示器をチェックしてください。この時点で実際の温度が調節されたことになります。温度が高すぎたり低すぎたりする場合には再調節します。

調節可能な温度範囲

調節できる温度範囲は次のとおりです。

– 冷蔵室：2 ℃ ～ 11 ℃

– 冷凍室：－14 ℃ ～－28 ℃

設定できる最低温度は、設置場所や周辺温度によって異なります。周辺温度が高いと、上記の最低温度に達しない場合もあります。

温度表示器

操作パネルの各温度表示器は、通常運転時の冷蔵室中央部の温度と冷凍室内の最も高い温度を表示します。

庫内温度が温度表示器の範囲外（冷蔵室では 0 ℃ 以上、冷凍室では 0 ℃ 未満）になると、温度表示器にはダッシュ（—）が点滅します。

次のような場合に温度表示器が点滅します。

– 設定温度を変えたとき

– 庫内温度が数度上昇したとき（冷気の損失を知らせます）

次のような場合、一時的に温度が上昇したときにはご心配いりません。

– 大きい冷凍食品を出し入れする際などにドアを長めに開いていたとき

– 新鮮な食品を冷凍するとき

冷凍室の温度が長時間 －18℃ を超えていた場合には、冷凍食品が解凍していないか確かめてください。また、このような場合にはできるだけ早めに食品を使い切ってください。

適切な温度

温度表示器の明るさ

温度表示器の明るさは、納品時には暗く設定してあります。ドアを開けたり、設定を変更したり、もしくはアラーム状態になると、約 1 分間最も明るく点灯します。

温度表示器の明るさは次のようにして変更します。

■ SUPER フリージングボタンを約5秒間押し続けます。

SUPER フリージングボタンの表示ランプが点灯し、温度表示器には「c」が点滅します。

■ 表示器に「h」が表示されるまで、温度調節ボタンを何度か押します。

■ SUPER フリージングボタンをもう一度押します。

表示器の「h」が点灯します。

■ 温度調節ボタンを押して表示の明るさを変更します。表示の明るさは 1～5 の間で選択します。

1：明るさ最小

5：明るさ最大

■ SUPER フリージングボタンを押して、設定を保存します。

■ 冷凍室電源 ON/OFF ボタンを押して、設定モードを終了します。

およそ 2 分間後に、通常運転に切り替わります。

本機にはアラームシステムが装備されており、冷凍室の温度が知らないうちに高くなるのを防ぎます。温度が高すぎる範囲まで上昇するとアラーム音が知らせます。それと同時に冷凍室温度表示器が点滅します。異常な温度範囲を検出するタイミングは設定した温度によって異なります。

次のような場合にはアラーム音や点滅信号を発します。

- 冷凍室の電源を入れるとき
- 冷凍食品を入れたり、整理したり、取り出すためにドアを開けっぱなしにしたとき
- 大量の食品を冷凍するとき
- 停電が長引くとき

アラームシステムを有効にするには

アラームシステムは自動的に作動待機状態になっています。特別にシステムを有効にする必要はありません。

アラーム音を止めておくには

冷凍室の温度が設定温度範囲になると、アラーム音は消え、温度表示器の表示は点灯した状態になります。それでも音が気になる場合にはあらかじめ切っておくことができます。

■ アラーム解除ボタンを押します。

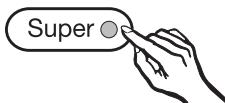
アラーム音は消えます。アラーム状態が終わるまで温度表示器の表示が点滅します。アラーム状態が終わると表示は点灯したままになります。これでアラームシステムは再び作動待機状態になります。

SUPER クーリングと SUPER フリージング

SUPER クーリング機能について

SUPER クーリング（急冷蔵）機能を使うと、冷蔵室を最も低い温度（周辺温度によって異なります）にまですばやく冷却できます。

SUPER クーリングを有効にするには

特に多めの新鮮な食品や飲み物を早く冷やしたいとき、SUPER クーリングを ON にしましょう。

■ SUPER クーリングボタンを押すと、表示ランプが点灯します。

冷蔵室は最大冷却能力で作動し、庫内の温度は下がります。

SUPER クーリングを無効にするには

SUPER クーリング機能は約 6 時間後に自動的に解除されます。表示ランプは消え、通常の冷却運転に戻ります。

また、節電のために、食品や飲み物が十分に冷えたら、この機能を手動で解除することもできます。

■ SUPER クーリングボタンを押すと表示ランプが消えます。

本体は再び通常運転に戻ります。

新鮮な食品を冷凍するとどうなるの？

栄養分やビタミン類、姿、形や風味を逃がさないようにするため、新鮮な食品はできるだけ早く冷凍する必要があります。

ゆっくり冷凍すればするほど、個々の細胞からより多くの水分がすき間に出てしまいます。
その結果、細胞は収縮してしまいます。

解凍の際には、流出した水分の一部しか細胞に戻りません。それだけ食品のみずみずしさが低下してしまいます。これは、解凍した食品のまわりに水たまりができることからお分かりいただけます。

一方、食品を急速に冷凍すると、細胞から水分が出ていく時間が短くなります。そのため、細胞の収縮が大幅に抑えられます。

解凍の際には、すき間に流出したわずかの水分しか失われないため、食品のみずみずしさはほんのわずかしか失われません。解凍時にちょっと水たまりになる程度です。

SUPER フリージング機能について

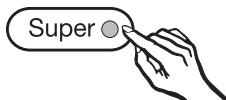
食品を最適に冷凍するには、冷凍する前に SUPER フリージング機能を有効にしておく必要があります。

例外：

– すでに冷凍してあるものを入れるとき

– 日に 2 kg の食品しか入れないとき

SUPER フリージングを有効にするには

冷凍する食品を入れる 6 時間前に SUPER フリージング機能を有効にする必要があります。**最大の冷凍能力**が必要な場合には、**24 時間前**に有効にしてください。

■ SUPER フリージングボタンを押すと、表示ランプが点灯します。

冷凍室は最大冷却能力で作動し、冷凍室の温度は下がります。

SUPER フリージングを無効にするには

入れた食品の量に応じて約 30 ～ 60 時間後に、SUPER フリージング機能は自動的に解除されます。表示ランプが消えて、通常の節電運転に戻ります。

節電のため、冷凍室の温度が −18℃ 以下に安定したら、SUPER フリージング機能を手動で解除することもできます。

■ SUPER フリージングボタンを押すと、表示ランプが消えます。

本体は再び通常運転に戻ります。

冷蔵室を上手に活用する

冷蔵室の温度分布

冷蔵室は、空気の自然対流によって、さまざまな温度範囲に分かれます。重い冷気は庫内の底に沈みます。食品の種類に応じて適切な冷蔵区域をご利用ください。

冷蔵室で最も低温なところ

冷蔵室内で最も温度が低いのは、野菜ケースの上側です。
次のような傷みやすい食品はこの区域を使います。

- 魚類および肉類
- ソーセージおよび加工食品
- 卵やクリームを含む食品、菓子類
- ケーキ、ピザ、キッシュ用の生の生地
- 原乳のチーズやその他の原乳製品
- 包装された野菜加工食品や、保存温度が4℃ 以下という条件で消費期限が設定されている新鮮な食品

冷蔵室で最も高温なところ

冷蔵室内で最も温度が高いのは、ドアの一番上で、塗りやすさを保つためにバターを保存したり、香りを逃がさないようにチーズを保存します。

⚠ **爆発性の燃料や可燃性ガスを含む製品（スプレー缶など）は貯蔵しないでください。爆発する恐れがあります。**

アルコール濃度の高いものは、きっちり密封し、まっすぐに立てて置いてください。

冷蔵庫のドアには食用油を入れないでください。応力によってプラスチックのドア材料に亀裂が入ることがあります。

食品は後ろの壁面に触れないように置いてください。後ろの壁面に凍りつくことがあります。

冷蔵に向いていない食品

すべての食品が冷蔵室での貯蔵に向いているとは限りません。特に以下のものは冷蔵に向いていません。

- バナナ、アボカド、パパイヤ、パッションフルーツ、ナス、パプリカ、トマト、キュウリなどの寒さに敏感な果物や野菜
- 貯蔵中に熟成する果物
- じゃがいも
- ハードチーズ（パルメザン）

食品の貯蔵のしかた

食品は必ずラップで包むか、十分に覆って貯蔵してください。 他の食品の臭いがうつったり、干からびたり、細菌に感染したりするのを防げます。 庫内温度を正しく設定し、適切な衛生対策をとることで、サルモネラ菌などの細菌の繁殖を抑えることができます。

果物と野菜

果物や野菜はラップに包まないで野菜ケースに貯蔵できます。ただし、多くの野菜類は熟成を促進する植物ガスを排出するので注意が必要です。 果物や野菜の中には、この植物ガスに特に敏感に反応するものがあります。そのため、果物や野菜の種類によっては、一緒に貯蔵しないでください。

植物ガスを多く排出する果物 :

リンゴ、アンズ、西洋ナシ、ネクタリン、桃、プラム、アボカド、いちじく

他の果物や野菜類の植物ガスに過敏に反応する果物および野菜 :

キウイ、ブロッコリー、カリフラワー、芽キャベツ、マンゴー、メロン、リンゴ、アンズ、キュウリ、トマト、西洋ナシ、ネクタリン、桃

庫内の構成

棚の移動

棚は冷やすものの高さによって入れ替えできます。

■ 棚をまず前方に持ち上げ、半分まで手前に引き寄せた後、下か上に取り外します。

■ 棚は後部の縁を上にした状態で、設置したい位置に入れます。
食品が後ろの壁面に触れたり、凍りつかないようにするために、後ろの縁は必ず上向きに入れてください。

分割式棚

背の高いビンや入れ物を置けるように、棚の手前の一部が取り外せる分割式の棚があります。

■ 手前半分のガラス棚を軽く前に持ち上げ、後部の棚の下にゆっくりとスライドしてください。

小物／ボトルポケットの入れ替え

■ 小物ポケットやボトルポケットは、引っ張り上げて手前に取り外します。

■ 小物ポケットやボトルポケットはお好みの位置に付けなおします。付けなおした後は、部品が正しく、しっかりと突起部に押し込まれているか確認してください。

ボトルホルダ位置の変更

ボトルホルダは左右に移動できます。ドアの開閉時にボトルが移動しません。

最大冷凍能力

できるだけすばやく食品の中心部まで冷凍するために、最大冷凍能力を超えないようにしてください。24 時間以内に冷凍できる最大量は、銘板に「冷凍能力 ...kg/24 h」のように記載されています。

加工冷凍食品を保存するとき

加工冷凍食品を保存したい場合には、買う際に次の事項を確認してください。

- 包装が破損していないか
- 保存期限
- 販売店のフリーザの温度。この温度が −18 °C 以上の場合には食品の保存期限が短くなります。

■ 冷凍食品は最後に買い求め、新聞紙に包むか、クーラーバッグに入れて持ち帰ります。

■ 冷凍食品はすぐに冷凍室に入れます。

一度解凍したり溶けたりしたものは再冷凍しないでください。煮たり焼いたりして調理した後であれば再冷凍できます。

ホームフリージングするとき

冷凍には新鮮で傷のない食品だけをお使いください。

冷凍する前にお気をつけください

- **冷凍に向いているもの**：新鮮な生肉、鶏肉、猟鳥獣の肉、魚、野菜、ハーブ、熟していない果物、乳製品、パン・ケーキ類、残り物、卵黄、卵白、その他調理済みの食品
- **冷凍に向いていないもの**：ブドウ、サラダ用葉菜、ラディッシュ、ダイコン、サワークリーム、マヨネーズ、容器に入れた卵、玉ねぎ、加工されていないリンゴやナシ
- 野菜や果物は、色、味、香りやビタミン C を保つために冷凍する前に湯通しする必要があります。小分けして、2～3 分間熱湯に浸してください。熱湯から取り出した後は冷水でいっきに冷やし、最後に水切りします。
- 赤みは脂身の多い肉に比べて冷凍に向いており、より長い間貯蔵できます。
- カツレツやステーキ、シュニッツェルなどは 1 枚ずつラップをはさみ、一緒に凍って一塊にならないようにしてください。
- 生ものや湯通しした野菜は、冷凍する前に味付けしたり塩味をつけたりしないでください。少しだけ味を付けるだけにしてください。調味料は、冷凍されると味加減が変化します。

冷凍と冷凍室の使い方

– すでに冷凍してある食品が溶けたり節電するためにも、温かい食物や飲み物は冷ましてから入れてください。

ラッピング

■ 1 人分もしくは 1 回分に分けて冷凍します。

包装に適したラッピング材

- 樹脂製ラップフィルム
- ポリエチレン製の筒状ラップフィルム
- アルミ箔
- 冷凍専用の容器

包装に適しないラッピング材

- 包装紙
- 硫酸紙（防水・耐脂性半透明紙）
- セロファン
- ごみ袋
- 使用済みの買い物袋

■ 包装内の空気を押し出してください。

■ 包装を密封するには次のものを使用します。

- 輪ゴム
- プラスチック製のクリップ
- 荷造り用のひも
- 耐寒テープ

ポリエチレン製の袋や筒状ラップフィルムはヒートシーリングできます。

■ 冷凍した中身と日付を記入します。

冷凍室に入れる前に

■ 2kg 以上の新鮮な食品を冷凍する場合には、食品を入れる少し前に SUPER フリージング機能をON にしてください（「SUPER フリージング」参照）。

冷凍室に入れる

食品は冷凍室内のどの場所でも冷凍できますが、特に上の冷凍ケースで凍らせます。
量が多い場合には、冷却器の上に直接置くと、すばやく、食品をいためずに冷凍できます。
その際、冷凍ケースは 1 個または数個取り外します。

冷凍室カバーと上段の冷却プレートの間のすきまには、平らであっても冷凍食品は絶対に入れないでください。

このスペースは空気がスムーズに循環するためのもので、冷凍室が正常に機能するのに大切です。

■ 冷凍ケースや冷却器はそれぞれ 25kg までの重さに耐えられます。

■ できるだけ早く完全に冷凍できるように、冷凍食品は冷凍ケースの底もしくは冷却器の上に広げて置きます。

食品が凍って互いにくっ付かないように、包装の湿気を取ってから冷凍室に入れます。すでに冷凍されている食品が解凍しないように、これから冷凍するものは凍っているものに触れないように入れてください。

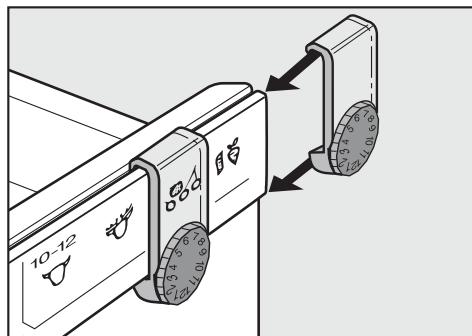
フリージングカレンダー

冷凍ケースのフリージングカレンダーで、食品の種類に応じた標準的な保存期間を確認できます。

市販の冷凍食品の場合には、包装に記載されている保存期間で判断してください。

冷凍食品マーカー

冷凍食品マーカーを使うと、食品の保存期間を思い出すのに便利です。

冷凍ケースには、ダイアル式のプラカードが2 個付いています。このダイアルの 1 ～ 12 を合わせて月を表示します。

■ プラカードは冷凍ケースの縁からガイドレールにスライドして入れます。

プラカードを冷凍食品の種類に合わせ、ダイアルは貯蔵時期に合わせます。

冷凍食品の解凍のしかた

冷凍食品を解凍するには次のような方法があります。

- 電子レンジ
- オーブンの「熱風加熱」もしくは「解凍」メニュー
- 室温で（自然解凍）
- 冷蔵庫内
- 蒸し器

肉や魚の切り身は半解凍のまま、熱したフライパンに入れられます。

果物は包装したままボウルに入れ、ふたをして室温で解凍します。

野菜は、通常は凍ったままの状態で沸騰したお湯に入れるか、もしくは高温の油で揚げます。冷凍食品の調理時間は新鮮な野菜よりも多少短くなります。

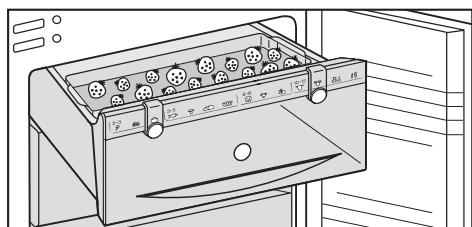
一度解凍したものは再冷凍しないでください。煮たり焼いたりして調理した後であれば再冷凍できます。

冷凍と冷凍室の使い方

飲み物を急いで冷やすには

SUPER クーリングボタンを ON にします。
冷凍室でボトルを冷やす場合には、**1 時間以内**に必ず取り出してください。そうしないとボトルが冷凍室内で破裂します。⚠

フリージングトレイの使いかた

ブドウの粒、ハーブ、野菜やその他の小さい食品は、フリージングトレイにのせると傷めずに冷凍できます。フリージングトレイの上で元の形のまま冷凍され、凍ってくっつくことはありません。

■ フリージングトレイの上には十分な間隔をあけて食品を置きます。

■ フリージングトレイを上段の冷凍ケースに引っ掛けます。

10～12 時間しっかり冷凍します。その後でフリージングバッグや容器に移し、冷凍ケースで保存してください。

保冷剤の使いかた

保冷剤は、停電時に冷凍室内の温度が急激に上がるのを防ぐのに使います。

保冷剤は冷凍室最上段にある冷凍室ケースの食品のすぐ上に直接置くか、場所をとらないようにフリージングトレイに入れます。冷凍室に入れておよそ 24 時間くらいで最大の冷却能力を発揮します。

停電の場合には食品の保存期間を最大限利用できるように、保冷剤を上段の冷凍ケースにある冷凍食品の上に直接のせます。

新鮮な食品を入れる際には、すでに入れてある冷凍食品との間に保冷剤を置き、冷凍ずみの食品が溶けないようにします。

また、保冷剤をクーラーボックスに入れると、食べ物や飲み物を短時間の間冷やすこともできます。

冷蔵室

冷却装置の運転時には、冷蔵室の後ろの壁面に霜や水滴が付くことがあります。冷蔵室内では自動的に除霜されますので、霜取りする必要はありません。

溶けた水は水みちと排水管を通って、本体背面の気化装置に流れこみます。

溶けた水がスムーズに流れ出るように、水みちや配水管はきれいにしておいてください。

冷凍室

冷凍室では凍った食品を長期間保存するため、霜は自動的に取り除かれません。

通常の運転では冷却器に徐々に霜や氷が付いてきます。そのため冷却出力が低下し、消費電力も増加します。

冷却器が損傷することがありますので、霜や氷層はけずり取らないでください。本体が正常に作動しなくなります。

冷凍室はときどき霜取りしてください。遅くとも厚さ 5mm 程度の氷の層ができたらすぐに霜取りをするようにします。貯蔵する冷凍食品が少なかったり、何もないときを見計らって行います。

霜取りの準備作業

■ 霜取りする 4時間くらい前に SUPER フリージング機能を ON にします。これで、すでに保存されている冷凍食品は低温を保ち、多少長く室温で置いておくことができます。

■ 冷凍食品を取り出し、その上に保冷剤を置きます。冷凍室が再び使用できるようになるまで、食品を新聞紙で覆ったり、何層にもくるみ、冷たい場所に保管します。

■ 冷凍ケースは冷凍室からすべて取り出します。

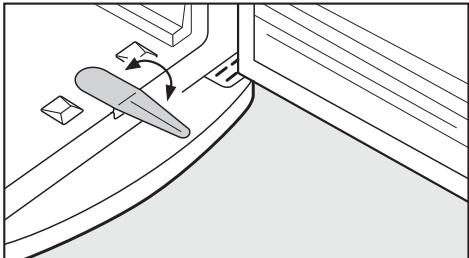
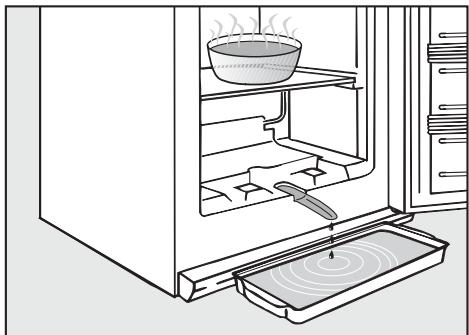
霜取りするには

霜取りはすばやく行ってください。冷凍食品を室温に長く置けば置くほど、保存期間が短くなります。

■ ON/OFF ボタンを押して冷凍室の電源を切ります。

温度表示器が消灯します。消灯しない場合にはインターロックが作動しています。

■ 冷凍室のドアは開けておきます。

霜取り

■ 排水ブリッジを開きます。

■ 本体の前に容器（或いはフリージングトレイ）を置き、溶けた水がその容器の中に流れ出るようにします。容器の水があふれないように注意してください。

解凍のスピードを上げるには、熱いお湯（沸騰していない）を入れた２つの鍋をなべ敷きにのせ、冷凍室の中に置きます。

容器（フリージングトレイ）から水が溢れないように注意してください。

庫内のプラスチック材料が傷みますので、霜取りには絶対に電熱器やローソクを使用しないでください。

除霜スプレーや解氷剤は使わないでください。爆発性のガスが発生したり、プラスチック材料を傷める溶剤や発泡剤が含まれていたり、その上健康にも有害である可能性があります。

霜取りしたら

■ 冷凍ケースを空にします。

■ 冷凍室内に解けて残っている水をスポンジやふきんで拭き取ります。

■ 冷凍室内を清掃して、乾かします。

■ 排水ブリッジを折りたたみます。

■ 冷凍室のドアを閉め、電源 ON/OFF ボタンを押して電源を入れます。冷凍室の温度表示器が点灯します。

■ SUPER フリージング機能を ON にして本体をすばやく冷却します。表示ランプが点灯します。

■ 冷凍室の温度が十分に下がり次第、冷凍食品を入れた冷凍ケースを挿入します。

■ 冷凍室の温度が少なくとも −18℃ に達して安定したら、SUPER フリージングボタンを押して、SUPER フリージング機能を解除します。表示ランプが消灯します。

砂、研磨剤、ソーダ（炭酸ナトリウム）や塩素、酸が入っている洗剤、および化学溶剤は絶対に使用しないでください。

また、光沢がなくなる原因となりますので、いわゆる「研磨剤の入っていない」洗剤も適していません。

ステンレスの部分には専用の洗剤を使用してください。

操作パネル、庫内灯、通気口には水がかからないように注意してください。

洗剤水が水抜き穴の中に流れないようにしてください。

スチームクリーナーは使用しないでください。蒸気が導電部に達し、ショートすることがあります。

庫内の銘板ははがさないでください。故障時に必要となります。

清掃する前に

■ 2 つの電源 ON/OFF ボタンを両方とも押して本体の電源を切り、電源プラグを抜きます。

■ 冷蔵しているものを取り出して、冷たい場所に置きます。

■ 冷凍室の霜取りをします。

■ 取り外せる部品はすべて取り外します。

■ 冷蔵室の棚を清掃する際には、前面からステンレス製の枠縁を取り外します。

外面、庫内、付属品

■ 冷蔵室は少なくとも１か月に１回、冷凍室は霜取りのたびに清掃してください。

■ すべて手洗いします。バターケースは食器洗い機で洗えます。

■ 冷蔵室の水みちや配水管は細い棒などを使って頻繁に清掃してください。これでスムーズに排水されるようになります。

■ ステンレス部分は専用の洗剤で清掃してください。

■ 清掃が済んだら、庫内や付属品を水拭きし、ふきんで水分を拭き取ります。ドアはしばらく開けたままにしておきます。

通気口

■ 通気口は刷毛や掃除機で定期的に清掃します。ほこりが溜まると消費電力が増えます。

お手入れのしかた

ドアパッキン

時間とともに気密性が損なわれるため、ドアパッキンにはオイルやグリースをつけないでください。

ドアパッキンは定期的に水拭きして、最後にふきんで完全に水分をふき取ります。

背面の金属格子

本体背面の金属格子（熱交換器）は、少なくとも年に 1 回はほこりを取ってください。ほこりが溜まると消費電力が増えます。

金属格子を清掃するときには、電気コードや構成部品をはがしたり、曲げたり、傷つけたりしないように注意してください。

清掃したあとは

■ 冷蔵室の部品を取り付けます。

■ 冷蔵室に食品を入れ、ドアを閉めます。
その後で電源プラグをコンセントに差し込み、冷蔵室および冷凍室の電源を入れます。

■ SUPER フリージング機能を ON にして冷凍室をすばやく冷却します。表示ランプが点灯します。

■ 冷凍室の温度が十分に下がり次第、冷凍食品を入れた冷凍ケースを挿入します。

■ 冷凍室の温度が少なくとも −18℃ に達して安定したら、SUPER フリージングボタンを押して機能を解除します。
表示ランプが消灯します。

専門家以外の人が電気器具の修理をしてはいけません。不適切な修理によって、使用者に重大な危険が生じることがあります。

次のような場合には、使用者がご自分で不具合を取り除けます。

こんなときは、どうするの? . . .

冷蔵室や冷凍室が冷えないときは?

■ それぞれの電源が入っているか確認してください。対応する表示ランプが点灯していなければなりません。

■ 電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれているか確認してください。

■ 屋内配線のヒューズやブレーカーが切れていないか確認してください。切れている場合にはサービス窓口までお問い合わせください。

冷凍室のドアを何回も続けて開けられないのは?

これは故障ではありません。吸引作用によってしばらくすれば力を入れなくても開けられます。

冷蔵室や冷凍室の温度が低すぎるのは?

■ 温度を高めに調節してください。

■ ドアがきちんと閉じられているか確認してください。

■ 大量の食品を一度に冷凍しませんでしたか?

食品を大量に入れると冷却装置が非常に長時間作動し、冷蔵室の温度も自動的に低下します。

■ SUPER クーリング機能がまだ解除されていません。この機能は 6 時間後に自動的に解除されます。

■ SUPER フリージング機能がまだ解除されていません。この機能は 30 ～ 60 時間後に自動的に解除されます。

冷却装置の始動回数が多かったり、作動時間が長いときは?

■ 通気口がふさがっていたり汚れたりしていないか確認します。

■ 背面の金属格子(熱交換器)にほこりがついていないか確認します。

■ ドアが頻繁に開けられたか、大量の食品を冷凍した可能性があります。

■ ドアがきちんと閉じられているか確認してください。

■ 冷却器が厚い霜に覆われていないか確認し、必要な場合は霜取りをしてください。

冷凍室の温度が高すぎて冷凍食品が溶けてしまうときは?

■ 室温が本機に指定された室温を下回っていませんか?

室温を上げてください。

室温が低すぎると、冷却装置があまり作動しなくなります。そのため、冷凍室の温度が大幅に上昇することがあります。

故障かな?と思ったら

冷凍食品が庫内に凍りついているときは?

スプーンの柄など、先のとがっていないもので食品を取り外します。

冷却器に厚い氷層があるときは?

■ 冷凍室のドアがきちんと閉じられているか確認してください。

■ 冷凍室の霜取りをして、清掃してください。

厚い氷層は冷却能力を低下させ、それによって消費電力が増えます。

アラームが鳴って、冷凍室の温度表示器が点滅するときは?

次のような場合には、設定温度によって冷凍室の温度が上昇します。

■ 冷凍室のドアを頻繁に開けたとき、もしくは大量の食品を冷凍室に入れたとき

■ 通気口が塞がれているとき

上記のような障害を取り除くと、冷凍室の温度表示器は点灯に変わり、アラーム音は消えます。

温度表示器にダッシュ(—)が点灯もしくは点滅するときは?

電源を入れてから約6時間後に温度表示器をチェックしてください。庫内の温度が表示可能な範囲にある場合にのみ温度が表示されます。

温度表示器に「F0」から「F5」のどれかが表示されるときは?

この場合は故障しています。サービス窓口にお問い合わせください。

アラームが鳴り、冷凍室の温度表示器に「nA」と表示されるときは?

数日前もしくは数時間前に起こった停電のために、冷凍室の温度が上昇しすぎています。

■「nA」が消灯するまで、アラーム解除ボタンを押します。

アラーム音は消え、温度表示器には停電の間の冷凍室で生じた最高温度が表示されます。

表示される温度に応じて、冷凍食品が一部もしくは完全に解凍されていないか確認します。
解凍しているときは、再冷凍の前に調理(煮たり、焼いたり)してください。

冷凍室内の最高温度を約1分間表示した後、温度表示器には再び冷凍室の現在の温度が表示されます。

停電の後は、最後に設定した温度で本機が作動します。

SUPER フリージング表示ランプや SUPER クーリング表示ランプが点灯しないのに、冷却装置が作動しているときは?

表示ランプが壊れています。サービス窓口にお問い合わせください。

本体の電源が切れないときは?

インターロックが ON になっています。

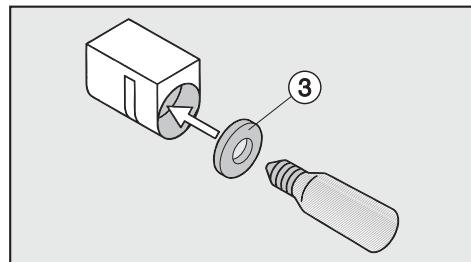
庫内灯がつかないときは?

■ 冷蔵室のドアが開けっ放しになっていませんでしたか?ドアが約 15 分間開いていると、照明は自動的に消えます。

そうでなければ、電球が切れています。

■ 電源プラグを抜くか、対応する屋内配線のブレーカーを遮断します。

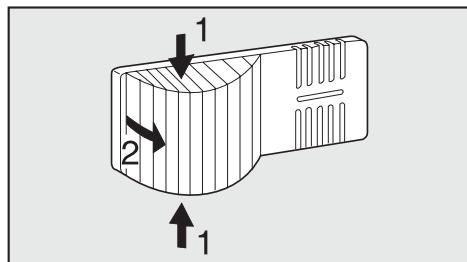
■ 庫内灯カバーを両側(上下)から押して(1)を外し(2)、後ろ側を取り外します。

■ 電球を回して外し、交換します。
電球の仕様:
125V、MAX.15W

■ 新しい電球を回しながらソケットに差し込みます。差し込む際には、パッキン(3)が正しく付いているか確認してください。

■ 再びカバーを内側に引っ掛けて、パチンと音がするまで両側をはめこみます。

冷蔵室の底が濡れているときは?

水抜き穴が塞がっています。

■ 水みちと水抜き穴を清掃してください。

上記の方法では不具合が取り除けないときには、サービス窓口にお問い合わせください。不具合が取り除かれるまで、冷気が庫外に逃げないようにドアはできるだけ開けないようにしてください。

いろいろな音がするわけ

通常の状態で聞こえる音	音がきこえるわけ
「ブーン」	うなるような音はモータ（コンプレッサ）の運転音です。モータが作動すると、音が少しの間大きくなることがあります。
「ボコボコ」	沸騰するような音、うがいのような音や回転音のような音は、配管を流れる冷媒の音です。
「カチッ」	サーモスタットによってモータが作動したり停止したりする音です。
「シュー」	複数の冷却区分があるタイプやノーフリージングのタイプでは、庫内で空気が流れる小さい音が聞こえることがあります。

冷却回路のモータ音や水流音を消すことはできません。

こんな音はすぐに消せます	音の聞こえるわけと消しかた
「カタカタ」「ゴトゴト」 「カチャカチャ」	冷蔵庫が水平に据え付けされていません。水準器を使って冷蔵庫が水平になるように調節します。冷蔵庫の下にあるねじ調節脚を使用するか、何か適当な高さのものを下に敷きます。
	冷蔵庫が家具または別の電気器具に接触しています。冷蔵庫を少し移動して触れないようにします。
	ケース、かご、もしくは棚がぐらぐら揺れるかはさまっています。 取り外しできる部品をチェックして、必要であれば新しいものと交換します。
	ボトルや容器が接しています。ボトルや容器が互いに触れないように離して置きます。
	冷蔵庫の背面にまだ輸送用のコードクリップが付いています。
	コードクリップを取り外します。

ご自分で処理できない不具合の場合には、最寄の販売店かサービス窓口までお知らせください。

＜サービス窓口＞

サービス窓口では本体の型式と呼び番号が必要です。 型式と呼び番号については、庫内の銘板に記載してあります。

据え付けるときのご注意

トースターやレンジなどの発熱する器具を冷蔵庫の上に置かないでください。消費電力が増えます。

据え付け場所

レンジやヒータの真横、直射日光の当たる窓際には設置しないでください。周辺温度が上がれば、その分だけ冷却装置の運転時間が長くなり、消費電力が増加します。
設置には湿気が少なく、風通しの良い場所が適しています。

気候区分室温

本機は守らなければならない気候区分（室温範囲）が指定されています。この範囲を遵守してください。気候区分は庫内の銘板に表示してあります。

気候区分室温	室温
SN	+10 ℃ ～ +32 ℃
N	+16 ℃ ～ +32 ℃
ST	+18 ℃ ～ +38 ℃
T	+18 ℃ ～ +43 ℃

室温が低いと冷却装置の静止時間が長くなります。そのため庫内の温度が上昇することがあります。

通気

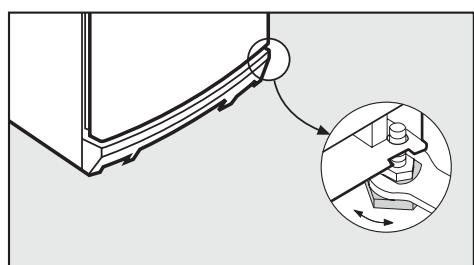
本体背面の空気は暖かくなるので、スムーズに換気できるよう、通気口を塞がないようにしてください。
同様に、定期的に通気口のほこりを取ってください。

据え付け

■ まず、本体背面のコードクリップを取り外します。

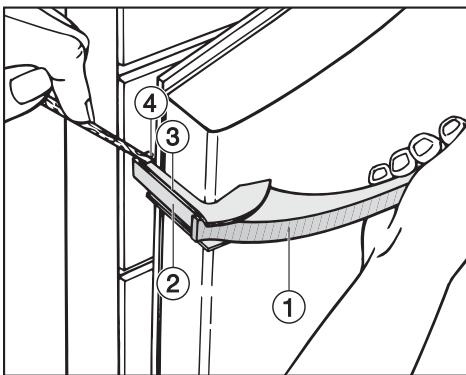
■ 本体背面の各部が干渉しあっていないか確認します。必要に応じて隣接する部分を慎重に曲げて引き離します。

■ 慎重に設置場所に本体を押し入れます。本体背面は壁に接していてかまいません。

水平出し

■ 付属のスパナを使って調節脚を本体に取り付け、本体を水平に設置します。

本機は通常、納品時には右ヒンジの状態になっています。 左ヒンジにしたい場合には、ドアヒンジの左右を入れ替える必要があります。

ドア取っ手の取り外し：

まず、ドアの取っ手からサイドパーツを取り外します。

■ ドア取っ手①を引っ張ると、サイドパーツ②が後ろに移動し、サイドパーツ②と固定プレート③の間にすき間④ができます。

■ 先の尖っていないもの（料理用スプーンの柄など）をすき間④にはさみ、取っ手をゆっくりとドアの方向に押します。

はさむのに使用した道具を滑らせて本体が損傷しないように気をつけてください。

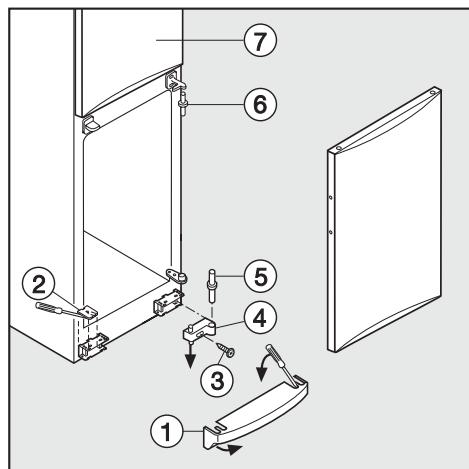
サイドパーツ②が外れます。

■ サイドパーツ②を溝から出します。

■ 固定プレートの 4 つのネジ（トルクス 15）を外し、取っ手を取り外します。

■ 反対側のカバープレートを取り外し、空になった穴に差し込みます。

ドアの入れ替え:

■ 下側のドアを開けます。

■ ドライバーを使って脚カバー①を外し、ゆすりながら手前に引っ張り出します。

■ ドライバーを使ってカバー②を外し、ドアを閉めます。

■ ネジ③を取り外します。

■ ドアブラケット④をピン⑤と一緒に下に引き抜き、手前にゆすりながら取り外します。

ドアヒンジの左右入れ替え

■ 下側のドアを開け、手前下方向に傾けて取り外します。

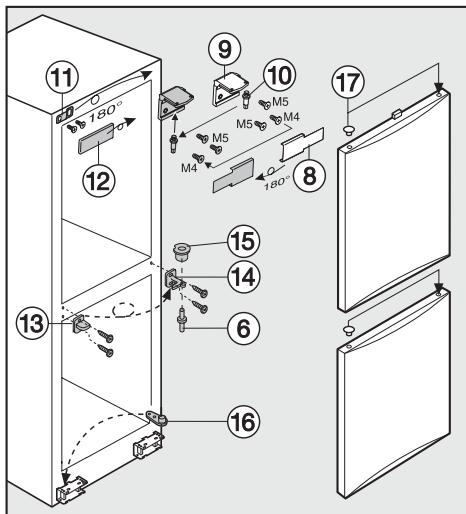
■ 上側のドア⑦を閉めた状態で、ピン⑥を下に引っ張って抜きます。

■ 上側のドアを開け、下方向に取り外します。

■ カバー⑧を取り外し、ヒンジ⑨のネジを外します。

■ ピン⑩をヒンジ⑨の 2 番目の穴に取り付けます。

■ 取り付け板⑪およびカバー⑫をそれぞれ 180° 回転して反対側に取り付けます。

■ ヒンジ⑨を反対側にネジで固定します。M4 ネジはヒンジの左側の穴に固定してください。

■ カバー⑧を 180° 回転して反対側に取り付けます。

■ 本体中央にあるカバー⑬とブラケット⑭を交換します。
まず、カバー⑬およびブラケット⑭のネジを外し、それぞれを 180° 回転させてから反対側にネジで固定します。

■ ブラケット⑭からベアリングブッシュ⑮を下に抜き取り、上からブラケットに入れ直します。

■ ドライバーを使ってスペーサー⑯を取り外し、反対側に当てがいます。

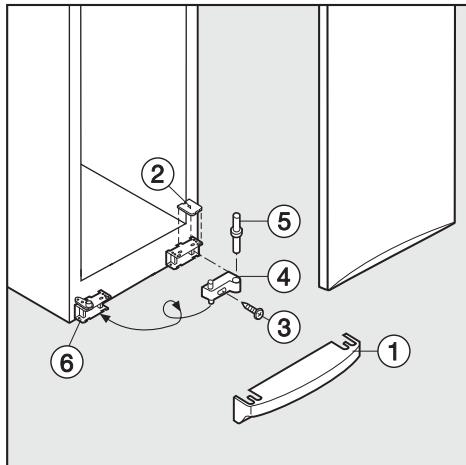
■ ドアキャップ⑰を外し、反対側に取り付けます。

■ 上側のドアをブラケット⑩に掛け、ドアを閉めます。

■ 中央のピン⑥を下からブラケット⑭を通して上側のドアに差し込みます。

■ 上側のドアのはまり具合をチェックします。
必要に応じてブラケット⑭の長穴で調節します。

■ 下側のドアをブラケット⑭に掛け、ドアを閉めます。

操作の過程が分かりやすいように、次の図では下側のドアは閉めていない状態になっています。

■ ドアブラケット④を 180° 回転し、ピン⑤を外して、反対側に差し込みます。

■ ブロック⑥にこの 2 つの部品を取り付けます。まず、ピン⑤をブロック⑥を通してドアブラケット④に差し込み、ドアブラケットをゆすりながら上に移動し、ネジ③で仮止めします。

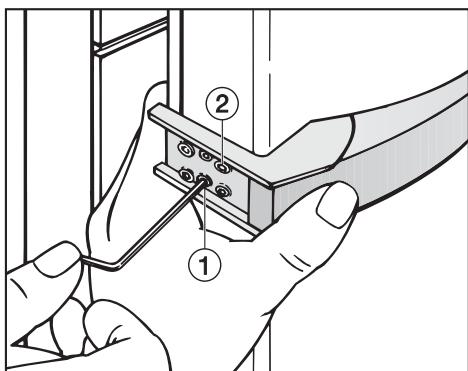
■ ブロック⑥の長穴に下側のドアを載せ、本体に合わせます。そしてネジ③をしっかり固定します。

■ 脚カバー①の両端を開いて、かみ合うまで押し込みます。

■ 下側のドアを開け、カバー 2 を脚カバー面にはめ込みます。

ドア取っ手を再び取り付ける:

■ まず、反対側の取っ手を軽くネジで固定します。

固定プレートはドア本体に密着していなければなりません。そうでない場合には、

■ 付属の六角棒レンチを使って、あらかじめ取り付けてある両方のボルト①を 止まるまで回します。

■ ネジ②をしっかりと固定します。

■ サイドパーツを固定プレートの溝にあわせて本体側から押し出し、カチッという音がするまできちんとはめこみます。

アフターサービスと保証について

保証書について

保証書は、販売店または指定サービス店が所定事項を記入の上お渡しします。その際、必ず「据付日、販売店名、商品引き渡し店名」等が記入されていることを確認の上、記載内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

● 保証期間は、据付日から1年間です。

＊ ただし、この期間中でも故障の原因や修理の内容によっては有料となる場合があります。詳しくは保証書を良くお読 みください。

修理について

修理、サービスを依頼される前に、「故障かな?と思う前に」をお読みになり、もう一度ご確認ください。ご確認の上、なお異常がある場合はご自分で修理なさらずに、必ず販売店もしくはサービス店にご連絡ください。

● 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づき、無料あるいは有料で修理いたします。

● 保証期間経過後の修理
修理により製品の機能が維持、回復できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

● 補修用性能部品の最低保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後9年です。

＊ 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスの依頼について

修理および転居・改築の際の製品移動、その他ご不明な点は、販売店もしくは指定サービス店にご依頼またはお問い合わせください。

● お知らせいただきたい内容

1. 異常の状況
2. 製品名（保証書に記載してあります）
3. 据付日（　　　　〃　　　　）
4. 型　式（　　　　〃　　　　）

＊ 型式・製造番号はドアを開けたところの「ステッカー」に記載されています。

<table>
<tr><td>モデル名</td><td colspan="2">KF 8762 S ed</td></tr>
<tr><td>外形寸法（mm）</td><td colspan="2">幅 600 x 奥行 631 x 高さ 1982</td></tr>
<tr><td>質　量（kg）</td><td colspan="2">90.8</td></tr>
<tr><td>定格電圧（V）</td><td colspan="2">100</td></tr>
<tr><td>電動機の消費電力（W）</td><td colspan="2">200</td></tr>
<tr><td>定格周波数（Hz）</td><td colspan="2">50/60</td></tr>
<tr><td>設置方式</td><td colspan="2">単独置き専用</td></tr>
<tr><td rowspan="2">有効内容積（リットル）</td><td>冷蔵</td><td>266</td></tr>
<tr><td>冷凍</td><td>93</td></tr>
<tr><td>冷凍能力</td><td colspan="2">* ***</td></tr>
<tr><td>冷却方式</td><td colspan="2">冷気自然対流方式（直冷式）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">霜取方式</td><td>冷蔵</td><td>自動</td></tr>
<tr><td>冷凍</td><td>手動</td></tr>
<tr><td>年間消費電力量（kwh/ 年）</td><td colspan="2">332.4
06 年新測定方法（JIS C9801-2006 年）</td></tr>
</table>

愛情点検

長年ご使用の冷凍冷蔵庫の点検を！

ご使用の際、
このようなことはありませんか

●スイッチを入れてもときどき運転しない時がある
●運転中に異常な音や振動がする
●本体ケースが変形していたり、異常に熱い
●こげくさい臭いがする
●冷凍冷蔵庫さわるとビリビリ電気を感じる
●その他の異常や故障がある

●使用を中止してください●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ミーレ・ジャパン株式会社

本社： 〒150-0044東京都渋谷区円山町3-6　E・スペースタワー11F

コールセンター：通話料無料 0120-310-229／03-5784-0039／03-5784-0042

M.-Nr. 06 996 250 / 00

jp-JP